

# 高崎健康福祉大学 大学院 保健医療学研究科

Takasaki University of Health and Welfare Graduate School of Health Care

■専攻の名称：看護学専攻修士課程

(Master Course of Nursing)

■学位の名称：修士（看護学）

(Master of Nursing)

修士（助産学）

(Master of Midwifery)

■専攻の名称：理学療法学専攻修士課程

(Master Course of Science in Physical Therapy)

■学位の名称：修士（理学療法学）

(Master of Science in Physical Therapy)





## 高度医療専門職者をめざして

保健医療学研究科長 鈴木 忠

超高齢化が急速に進む地域社会において保健・医療・介護にたいするニーズは増大・多様化し、急性期医療から在宅・介護まで現場で働いている看護師および理学療法士等の医療専門職の業務と役割はますます大きくなっています。このような状況のなか、チーム医療を担い社会のニーズに柔軟に応えられる高度実践能力を備えた看護師および理学療法士等の高度医療専門職者の育成は喫緊の課題です。また、その基盤を支える教育・研究者の育成も重要です。

現場で働く看護師や理学療法士の皆さんは誰しも、自分の知識や技術では解決できない課題や問題に直面し、悩んだり、専門職としてどのようにキャリアアップをしたらよいのかと考えたりした経験をお持ちのことと思います。

こうした課題や問題を解決する一つの方法が大学院で学ぶことです。大学院での学びは、既存の知識や技術では解決できない課題や問題について深く掘り下げ研究し、看護学や理学療法学の知を創造し、高度実践専門職者や教育・研究者としての一步を踏み出すことにつながります。

専門職として仕事への熱い思いを原動力に、一人でも多くの仲間が大学院に進学されることを期待しています。

## あなたは、エビデンスに基づいたケアをしていますか？

保健医療学研究科看護学専攻長 大石 時子



1952年に看護の大学が初めて誕生してから67年、看護学の大学院ができてからは40年が経過しました。

今では、百以上の大学院で看護学を探究することが可能です。看護学の科学化・学問化は確実に進みました。また、特定看護師やCNSといった高度な実践看護師の養成や助産師の養成も大学院で行われるようになりました。

地域包括ケアや子育て世代包括ケアの構築がめざされる現在では、看護師や助産師に幅広い高度な知識や実践力、そして、チーム医療のもとでの看護職独自の判断力やリーダーシップが求められる時代になっています。

大学院は研究が目的と思われがちですが、研究は臨床実践での疑問(clinical question)から生まれ、研究を通して得られたエビデンスは臨床で生かされ評価されねばなりません。つまり研究は臨床から生まれ、臨床実践に戻るものであり、研究と実践は切っても切れない関係にあります。

皆さんが大学院で、科学的な思考を深め、エビデンスに基づく自律した判断力を修得し、患者さんや女性・家族のために看護・助産の質を向上させてくださることを期待しています。

## 身体だけでなく心の痛みにも寄り添える、 あたたかく心深い理学療法士を目指そう！

保健医療学研究科理学療法学専攻長 居村 茂幸



現在の保健・医療・福祉の現場では、深い専門分化の進展が図られるとともに、シームレスなサービスの必要性和効果が期待され、現場での連携や協働への具体的な取り組みが求められています。

このような現状の中、ご自分の知識や技量では解決し難い課題や問題に直面し、専門職としてどのようにキャリアアップをしたらよいのかを悩まれた経験はどなたにもあることでしょう。こうした課題や問題を解決する方法の一つが、大学院で学ぶことと考えます。

大学院での学びは、既存の知識や技量では解決し難い問題や課題について熟考でき、人間性の尊重を基本として、保健医療学に関する学術理論および応用を研究し、精深な学識と研究能力等を養い、学術文化の発展に寄与することが期待できます。このことは、地域社会に貢献し、情熱と努力を惜しまない臨床力のある高度実践理学療法専門職者や教育者・研究者への一歩を踏み出すことにも繋がります。ただ、わが国では理学療法関連の大学院における保健・医療・福祉分野の研究・教育組織はまだ極めて少ないのが現状です。

本学、保健医療学研究科では、先進諸国の水準を目標に教育・研究体制の整備を進め、教員は大学院生と共にこの分野の教育・研究を推進します。

理学療法への熱い思いを原動力に、多くの仲間が当大学院に進学なさることを期待してやみません。

## ■ 高崎健康福祉大学の理念と保健医療学研究科の目的

高崎健康福祉大学の理念は、人間尊重、人間理解を基調として、人の喜びを自分の喜びとする「自利利他」の精神のもと、人類の健康と福祉に貢献する人材を育成することです。

保健医療学研究科の目的は、保健医療・看護・助産・理学療法の質的充実・向上に貢献できる高度実践保健医療専門職者の育成ならびに保健医療学・看護学・助産学・理学療法学の発展に貢献する教育・研究者を育成することです。

## ■ 保健医療学研究科の教育目標

### 〈看護学専攻〉

#### 助産師養成領域

- 助産学における高度な知識と技術を有し、エビデンスに基づいたアセスメントとケアを自律して実践できる高度実践助産師を育成する。
- チーム医療のキーパーソンとして他の医療専門職者との連携・協働のもとに活躍することができる高度実践助産師を育成する。
- 実践上の課題をエビデンスを活用して解決する能力と、研究を推進する基礎的能力を備えた助産師を育成する。

#### 看護実践開発科学領域・ケアシステム開発科学領域・助産実践開発科学領域

- 看護学や助産学における高度な知識と技術を有し、チーム医療のキーパーソンとして他の医療専門職者との連携・協働のもとに活躍することができる高度実践看護専門職者および高度実践助産師を育成する。
- 保健医療の課題を解決するためのケアシステムの構築や人材育成を推進するリーダーとしての役割を担える看護管理者を育成する。
- 看護専門職を育成する教育者および看護学・助産学の発展に貢献できる研究者を育成する。

### 〈理学療法学専攻〉

- 地域医療介護の課題を解決するための地域リハビリテーションシステムの構築や人材育成を推進するリーダーとしての役割を担える理学療法士を育成する。
- 理学療法学における高度な知識と技術を有し、チーム医療のキーパーソンとして他の医療専門職者との連携・協働のもとに活躍することができる高度実践理学療法専門職者を育成する。
- 理学療法士を育成する教育者および理学療法学の発展に貢献できる研究者を育成する。

## ■ 修得すべき知識と能力

### 〈看護学専攻〉

- 実践における課題を明確化し、理論と実践を統合しながら課題解決に向けた専門的知識と技術を発展させる能力を修得します。
- 実践課題の解決のための論理的かつ倫理的思考力を修得し、課題解決に向けた研究テーマについて、研究方法を学び、研究に取り組み、研究に必要な基礎的知識と能力を修得します。
- 実践の場で保健医療・看護・助産の質的充実・向上に貢献するためのマネジメント能力と挑戦し続ける能力を修得します。

### 〈理学療法学専攻〉

- 予防理学療法学を中心とした理学療法実践課題の解決のための論理的かつ倫理的思考力を修得し、エビデンスの構築と課題を解決する研究課題に取り組むのに必要な研究手法および研究に関する基礎知識と研究実践能力を修得します。
- 臨床における理学療法実践、地域における地域理学療法実践において、対象者の問題や地域の課題を正確に分析評価し、その課題解決に向けて専門的知識と技術を統合、発展される能力を育成します。
- 臨床や地域の実践の場で理学療法の質的充実・発展に貢献するためのマネージメント能力と自己客観性をもって自身を発展させる能力を修得します。

## ■ アドミッションポリシー

### 〈看護学専攻〉

- チーム医療の中心的役割を担う高度実践看護専門職者や、周産期医療の質の向上を目標とし高度実践助産師を目指す意欲ある学生の入学を期待します。
- 保健医療学・看護学・助産学の発展に貢献する教育・研究者を目指す意欲ある学生の入学を期待します。
- 助産師資格を取得し、自律的・主体的な助産活動ができる助産師を目指す意欲ある学生の入学を期待します。

### 〈理学療法学専攻〉

- チーム医療の中心的役割を担う高度実践専門職者として、卒業後も地域医療の中で積極的に情報発信しながら活躍する意欲の高い学生の入学を期待します。
- 地域リハビリテーションのリーダーとして、エビデンスの構築や次世代の理学療法サービスのあり方を積極的に考え、実践につなげられる学生の入学を期待します。
- 理学療法学の発展に貢献する教育・研究者を目指す意欲のある学生の入学を期待します。
- 地域で理学療法士として働きながら、問題意識を明確に有し、自ら問題解決を図る意識を高くもっている社会人の入学を期待します。

※ 社会人とは、地域の保健医療機関や介護施設などの職場に在籍している、または、就職が内定しており在籍予定である者としてします。

## ■ 看護学専攻修士課程の分野および領域

高度医療専門職者の育成および教育・研究者の育成



保健医療学研究科には看護学分野と助産学分野の2分野があり、各分野は更に2領域に分かれています。

## ■ 理学療法学専攻修士課程の2つの領域とその特徴

### ● 理学療法学専攻修士課程の特徴

- ① 予防理学療法を中心とした実践および研究への取り組みを重視します。
- ② 地域リハビリテーションの視点をもった臨床および地域での実践能力の向上を図ります。
- ③ 看護学専攻と一緒にあって、チーム医療に貢献できる素地を作るような教育環境で学修します。

理学療法学分野は、**地域理学療法学領域**と**臨床理学療法学領域**の2領域に分かれています。

### ● 地域理学療法学領域の特色

新しい医療・介護の仕組みに対応しながら、近隣地域の行政とも共同作業していくような活動を推進していく予定です。地域リハビリテーションという広い視点とその中での地域理学療法といった構造が常に意識できるように科目立てし、広い視野をもった地域理学療法サービスを行える基盤を作るために教育・指導を行います。また、それらの学びを通して新しい医療・介護の仕組みの中でどのようなシステムを作ることが国民の利益になるのか、効果的なサービスは何か、考え行動する土台を築くための教育・研究指導を行います。

### ● 臨床理学療法学領域の特色

臨床における問題をより深く考え、正しい臨床判断を行うために臨床思考過程の成熟を図る必要があります、それに対応できるよう臨床推論能力を高める教育を行います。また、対象者の個別性に関する評価や動作や生活を阻害する因子の抽出に資する評価などの新たな視点での評価指標の開発や治療法の開発およびそのエビデンスの構築についての教育・研究指導を行います。

## ■ 保健医療学研究科の授業

### 〈看護学専攻〉

学生は、選択した各領域に分かれて専門科目を学ぶこととなりますが、すべての学生が、領域を超えて、研究手法の基本を学ぶ保健医療統計特論、看護学研究法とチーム医療を学ぶチーム医療特論、チーム医療アプローチ特別演習を必修共通科目として学びます。

授業は、学生が自らの関心や問題意識を基に発展的に学べるように、講義と演習さらに課題研究／特別研究が有機的に関連し、修士論文を完成する教育課程になっています。



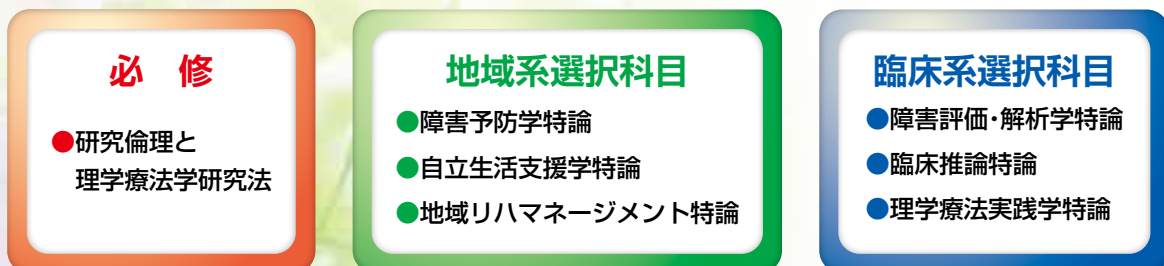
### 〈理学療法学専攻〉

学生は、選択した各領域に分かれて専門科目を学ぶこととなりますが、すべての学生が分野や領域を超えて、保健医療統計特論・チーム医療特論・チーム医療アプローチ特別演習を必修科目として学びます。

また、理学療法学分野の2つの領域間にも7つの共通科目を設定して幅広く学ぶことができます。

授業は、学生が自らの関心や問題意識を基に発展的に学べるように、講義(特論)と演習さらに特別研究が有機的に関連し、修士論文を完成させる教育課程になっています。

#### ● 7つの領域間共通科目



※学生は、必修の共通科目と領域の選択科目に加えて、別領域の選択科目を1科目以上選択します。



■ **看護学分野では、高度実践看護専門職者または教育・研究者を目指して、専門性の高い看護学の知の創造に取り組みます。**

## 1. 看護実践開発科学領域

- 看護実践の課題を解決しチーム医療の中心的存在として活躍できる高度実践看護専門職者を育成します。
- 看護学の発展に貢献する教育・研究者を育成します。

### <カリキュラムの特徴>

学生が関心を持っている対象の特徴や看護実践の課題を踏まえて、対象の自立やQOLの向上に向けたアセスメント方法や看護ケアプログラムの開発、教育プログラムの開発、健康増進に向けた実態調査などの研究テーマを設定し、研究計画を立て、研究を実施し、論文作成ができるように指導します。

修士号を取得するためには、特別研究8単位を含む30単位以上を修得し、修士論文を提出し、論文審査および最終試験に合格することが必須です。

## 2. ケアシステム開発科学領域

- ケアシステムや人材育成を推進するリーダーとしての高度実践看護専門職者を育成します。
- 看護学の発展に貢献する教育・研究者を育成します。

### <カリキュラムの特徴>

学生が関心を持っている対象の特徴と医療の質の向上における課題を踏まえて、地域包括ケアシステムの構築、チーム医療を推進するための人材育成プログラムの開発や人材育成・管理システムの構築などの研究テーマを設定し、研究計画を立て、研究を実施し、論文作成ができるように指導します。

修士号を取得するためには、特別研究8単位を含む30単位以上を修得し、修士論文を提出し、論文審査および最終試験に合格することが必須です。

## ■ 助産学分野では、助産師または高度実践助産師を目指して、専門性の高い助産学の知の創造に取り組みます。

### 1. 助産師養成領域

- 助産実践に関する知識と技術を修得して、助産師資格(助産師国家試験受験資格)を取得するコースです。

#### <カリキュラムの特徴>

修士号を取得するためには、課題研究4単位を含む30単位以上を修得し、修士論文を提出し、論文審査および最終試験に合格することが必須です。加えて、助産師国家資格取得のための指定規則28単位を修得し、合計58単位以上が修了要件となります。

助産師国家資格取得のための科目と研究活動に関連する科目を発展的につなげて学びます。実践助産学の実習において担当した母子の継続事例を通して、課題研究に取り組みます。

#### <多彩な実習場所で学ぶ>

演習・実習場所には、助産所、院内助産所的機能を持つ医療施設、ハイリスクな母子の治療を行う医療施設、地域母子訪問等、多様な場を設けています。

### 2年かけて学ぶ価値が ここにあります。

この領域では、どのライフステージにおいても**対象の自律的「性と生殖」機能・活動の健康を支援できる**ウィメンズヘルスに関する知識と技術を身につけ、かつ産み育てることに  
関する正しい情報を伝え、**産み育てる教育・啓発活動**を促進でき、**女性の産む力を引き出し**  
ながら分娩介助ができる知識と技術を身につけた助産師を養成します。

**高度実践助産師につながる基盤**を築くとともに、助産学分野における**教育・研究を推進する人材**を育成します。

### 2. 助産実践開発科学領域

- 周産期医療の質の向上を推進し、少子化社会において女性が安心して妊娠・出産・育児ができるような支援を強化する高度実践助産師を育成します。
- 助産学の発展に貢献する教育・研究者を育成します。

#### <カリキュラムの特徴>

修士号を取得するためには、特別研究6単位を含む30単位以上を修得し、修士論文を提出し、論文審査および最終試験に合格することが必須です。

- ① 院内助産システムを推進するための知識や技術を修得し、特別研究に取り組みます。
- ② MFICU・NICU搬送におけるコーディネーターとなるための知識や技術を修得し、特別研究に取り組みます。
- ③ 出産前から地域と出産施設との有機的連携を図るための知識や技術を修得し、特別研究に取り組みます。



論文発表会の風景

■ 理学療法学専攻では、高度実践理学療法専門職者または教育・研究者を目指して、専門性の高い理学療法学の創造に取り組みます。

## 1. 地域理学療法学領域

- 予防理学療法学を推進していくジェネラリストとしての理学療法士を育成します。
- 地域リハビリテーションを担うリーダーとしての理学療法士を育成します。

### <カリキュラムの特徴>

広く地域リハビリテーションに目を向けたうえで、その中での地域理学療法の位置づけを認識できるように特論と演習を行います。それを通して、地域の実情を把握し、リハビリテーション専門職者が地域の問題を具体的に解決するためのシステム作りの場面でリーダーとしての役割を果たし、医療と介護の連携を促進しながら、介護予防や認知症予防の観点で具体的かつ効果的な介入方法が創出されるように研究を指導します。



## 2. 臨床理学療法学領域

- 高度な専門知識・技術をもつスペシャリストとしての理学療法指導者を育成します。
- 理学療法学の発展に貢献する教育・研究者としての理学療法士を育成します。

### <カリキュラムの特徴>

幅広い対象に対する理学療法における障害構造分析から有効な評価指標を開発し、科学的効果判定の一助とするのみならず、生活やQOLの向上といった視点から、より効果的な評価・介入方法についてエビデンスを構築するための研究を行います。特論と演習を通して、評価指標および介入方法に関する学修を深めることで研究テーマに関連する洞察力を高めます。

それらの学びを障害発生の予防に還元し、臨床における理学療法の質的向上に貢献するだけでなく、地域での障害予防に対する取り組みにもつなげられるように研究を指導します。

# 担当教員と研究内容

Takasaki University of Health and Welfare Graduate School of Health Care

分野	領域	担当教員	主な研究内容
看護学	看護実践 開発科学	教授 吉田久美子	①治療中のがん患者のセルフケア能力に関する看護研究 ②終末期がん患者のQOLに関する看護研究
		教授 石田 順子	①がん患者とその家族のソーシャルサポートに関する研究 ②がん患者の家族機能に関する研究
		教授 砂賀 道子	①外科的治療を受けるがん患者への看護支援に関する研究 ②がん患者の適応を促進する力に関する評価指標の開発
		教授 倉林しのぶ	①死別ひとり親世帯への社会的支援に関する研究 ②保健・医療・福祉分野における各職種の倫理観および倫理教育に関する研究
		教授 高田絵理子	①精神障害者の地域生活支援に関する研究 ②精神科デイケア利用者のセルフケア能力に関する研究
		教授 神田 清子	①がん治療期・終末期にある患者の症状マネジメントに関する研究 ②がんに関わる看護職の教育に関する研究
		准教授 櫻井 美和	①小児がんの子どもと家族に対する症状マネジメント看護援助モデルの開発 ②小児がんの子どもと家族の緩和ケアプログラムの開発
		准教授 箕輪 千佳	①リラックスを促す看護技術の効果に関する検証研究 ②看護介入としてのリラクゼーションプログラムの開発
	ケア システム 開発科学	教授 棚橋さつき	①在宅看護領域における看護管理・人材育成に関する研究 ②地域ケアシステム構築に関する研究
		教授 小笠原映子	①ケア情報共有のICT化に関する研究 ②在宅看護領域に関する研究
助産学	助産師 養成 助産実践 開発科学	教授 大石 時子	①ジェンダーが性行動に及ぼす影響を考慮した性教育の開発 ②妊産褥婦と女性の健康に影響する社会的要因についての研究
		教授 久保田隆子	①産科医療訴訟事件と医療安全に関する研究 ②助産の通過儀礼と習俗に関する研究

# 担当教員と研究内容

Takasaki University of Health and Welfare Graduate School of Health Care

専攻	領域	担当教員	主な研究内容
理学療法学	臨床理学療法学	教授 居村 茂幸	①呼吸器障害を中心にした内部障害系理学療法学に関する研究 ②脳卒中による障害を中心にした中枢神経系理学療法学に関する研究 (ロボット工学等を含む)
		教授 小林 勉	①野球選手肩肘障害の予防に関する研究 ②超音波エラストグラフィを用いた運動器障害の評価
		教授 竹内 伸行	①物理的刺激に対する生体反応の研究と、その成果に基づく理学療法アプローチに関する研究 ②筋緊張の病態解析、臨床的評価および治療的介入に関する研究 ③理学療法分野のリスクマネジメントに関する研究
		准教授 樋口 大輔	①運動器系疾患を持つ人々の障害構造の解明ならびにQOL（生活の質）の向上に資する研究 ②慢性疼痛をもつ人々に対する理学療法のあり方を追求する研究 ③理学療法教育（特に臨床実習）の改善に資する研究
		講師 千木良佑介	①内部障害系理学療法全般（呼吸・循環・代謝）に関する研究 ②筋力トレーニング効果についての基礎的研究 ③様々な内・外的要因が筋発揮や筋持久力に与える影響
		講師 半田 瞳	①超音波画像診断装置を用いた基礎的研究 ②腹圧性尿失禁に対する評価とトレーニング方法の開発に関する研究
	地域理学療法学	教授 田中 聡一	①認知症高齢者に対する地域リハビリテーションと地域作りに関する研究 ②神経難病患者に対する薬物療法とリハビリテーションの併用効果に関する研究 ③入院患者の在宅復帰に寄与する日常生活動作および認知機能に対するリハビリテーションに関する研究
		教授 解良 武士	①地域高齢者の虚弱の要因の解析（フレイル・サルコペニア）に関する研究 ②運動生理学（主に呼吸機能）に関する研究
		准教授 中川 和昌	①運動器・スポーツ傷害を対象とした予防に関する研究 ②地域住民の体力向上に関する研究 ③理学療法学および医学・保健学教育に関する研究

## 社会人入学者の対応

大学院設置基準14条特例を採用し、夜間および週末時間割での授業を行います。

## 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限(2年間)で修了することが困難な場合、標準修業年限を超えて一定の期間(3年間)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了する制度です。

長期履修の対象者は大学院に入学を許可された者または大学院修士課程1年目に在学する学生となります。ただし助産学分野 助産師養成課程領域の学生は対象になりません。

学費は2年間の在籍の場合と同額となります。

## 修了生の修士論文テーマ

### 2017年度修了 修士論文テーマ

- 産後1か月の初産婦が育児より感じる助産師へのケアニーズ
- 正常新生児を出産した母親に対する助産師支援の現状と訪問看護支援に関する研究
- 医療系大学生の恋愛観と結婚観および職業観の実態
- キャリア中期の危機の段階にある看護師の自己評価と職業的アイデンティティとの関連性
- 産後1年半経過した女性の出産体験の自己評価に影響する要因の検討

### 2018年度修了 修士論文テーマ

- 月経随伴症状を抱える女性への対応と月経に関する知識、イメージ及び月経随伴尚樹の程度との関連
- 子宮頸がん検診に対する医療系大学生の認識と受診行動の関連
- 医療系女子大生のダイエット志向と栄養状態の実態調査
- 終末期がん患者の苦痛が増強している場面で中堅看護師が大切にしている価値観
- 重症心身障がいの定義にあてはまらない医療的ケアの必要な子どもの母親の子育てにおけるエンパワメントの様相
- 民間中小規模病院看護部長の継続勤務への思い
- 妊産婦が得ている硬膜外麻酔分娩の情報とその選択に影響を及ぼす要因の検討

## 修了生からのメッセージ



### 根岸由利子

大学を卒業後に臨床経験なく修士課程に進学しましたが、色々な職種に就いている大学院の仲間達の話や講義から刺激を受け、広い視野で物事を考えることが出来るようになりました。また、研究を通し、疑問を明らかにすることは、根拠に基づいたより良い助産・看護を生み出すことにつながると学びました。

助産師資格取得に向けた勉学と修士論文執筆に向けた研究を並行して行うことは大変だと感じることもありましたが、先生方の支えや仲間達と協力し乗り越えられたことは、これから助産師として活動するにあたっての糧となりました。

臨床の場に出ても探求心を忘れず、根拠のある助産活動を実践していきたいと思っています。

2020年度

# 学生募集要項

## 1. 募集人員

研究科	専攻	入学定員
保健医療学研究科	看護学専攻修士課程	6名 (定員6名には社会人を含む)
	理学療法学専攻修士課程	3名 (定員3名には社会人を含む)

※ 社会人入学者に対応するため、授業は、一般昼間学生対応の昼間時間割の他に社会人入学者対応として、大学院設置基準第14条特例を採用した夜間および週末時間割での授業を行います。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者または2020年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者または2020年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2020年3月修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 本学大学院において、事前出願資格審査により大学を卒業したと同等以上の学力があると認めた者で、2020年4月1日までに22歳に達する者
- ⑥ 看護学分野を志望する者は、①～⑤のいずれかに該当し、看護師、保健師、養護教諭のいずれかの資格を有し、その資格を用いての実務経験3年以上を有する者
- ⑦ 助産学分野の助産師養成領域を志望する者は、①～⑤のいずれかに該当する女性で、かつ、看護師の資格を有する者または2020年3月に看護師国家試験合格見込みの者
- ⑧ 助産学分野の助産実践開発科学領域を志望する者は、①～⑤のいずれかに該当し、助産師の資格を有し、保健医療施設での実務経験3年以上を有する者
- ⑨ 理学療法学専攻においては、上記①～⑤のいずれかに該当し、かつ、入学時に理学療法士の資格を有する者

注) 出願資格⑤に該当する者は、事前に出願資格の審査を行う必要がありますので次ページの期間に、高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科事務室に問い合わせてください。なお、事前出願審査については「8. 事前出願資格審査」を参照ください。

### 3. 入試日程

第一回 募集	事前出願資格審査の申込みの 連絡期間(該当者のみ)	2019年7月31日(水)～8月2日(金)
	事前面談の期間	2019年8月14日(水)～9月6日(金) 事前出願資格審査が必要な方は書類提出期間前に、面談を行 ってください。
	事前出願資格審査の書類 提出期間(該当者のみ)	2019年8月26日(月)～8月30日(金)必着
	願書受付期間	2019年9月6日(金)～9月13日(金)必着
	試験日	2019年9月21日(土)
	合格発表	2019年10月10日(木)
第二回 募集(注)	事前出願資格審査の申込みの 連絡期間(該当者のみ)	2019年12月2日(月)～12月4日(水)
	事前面談の期間	2019年12月6日(金)～2020年1月24日(金) ※但し、2019年12月25日(水)～2020年1月5日(日)は除く。 事前出願資格審査が必要な方は書類提出期間前に、面談を行 ってください。
	事前出願資格審査の書類 提出期間(該当者のみ)	2019年12月16日(月)～12月20日(金)必着
	願書受付期間	2020年1月24日(金)～1月31日(金)必着
	試験日	2020年2月15日(土)
	合格発表	2020年2月26日(水)

(注)第二回募集は第一回募集で定員に満たない場合にのみ実施します。第二回募集の有無については  
2019年10月以降、高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科事務室にお問い合わせください。

### 4. 選抜方法

	時 間	試験科目	試験科目の内容
看護学専攻 理学療法学専攻 修士課程	9:30～9:50	受 付	
	9:50～10:00	説 明	
	10:00～11:00	専門科目	・志望した分野の科目・領域の科目を選択
	11:15～12:15	英 語	・辞書持込み可(電子辞書は除く)
	13:00～14:00	小 論 文	・800字以内
	14:15～	面 接	





## 10.出願書類等

※外国語による証明書類には、すべて日本語訳を添付してください。

必要書類等	作成方法
入学志願票 受験票・写真票 受験票返信用封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>本学所定の用紙を使用し、必要事項をもれなく記入してください。</li> <li>入学志願票および写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影の正面、上半身、無帽の写真(縦4cm×横3cm、裏面には氏名、志望分野・領域名を記入)を貼付してください。</li> <li>受験票返信用封筒には、本人の住所(受験票送付先)、氏名、郵便番号を記入し、362円切手を貼付してください。</li> <li>記入にあたっては、黒のボールペンまたは黒インクの万年筆を使用し、楷書で明確に記入してください。</li> <li>看護職、理学療法士職等の資格・免許の証明書のコピーを添付してください。</li> </ul>
志望理由書 (入学願書用) (事前出願資格審査用)	<p>本学所定の様式の項目について記入し、<u>指導を希望する教員との面談時に持参してください</u>。また、今までに取り組んでいる研究論文などがある場合には願書の出願時に添付してください。</p> <p>事前出願資格審査が必要な方は、事前出願資格審査用も記載してください。</p>
卒業(見込)証明書	<p>出身大学(最終学歴が大学でない者は、最終学歴の学校)長または学部長が作成し、厳封したもの。本学を卒業した者および卒業見込みの者は提出の必要はありません。なお、大学評価・学位授与機構により学士の学位を与えられた者は、同機構が発行する学士学位授与証明書を提出してください。</p>
成績証明書	<p>出身大学(最終学歴が大学でない者は、最終学歴の学校)長または学部長が作成し、厳封したもの。なお、大学評価・学位授与機構により学士の学位を与えられた者も、最終学歴の学校長が発行し、発行者において厳封したものを提出してください。</p>
健康診断書	<p>本学所定の用紙に医師が診断証明したもので、出願3ヶ月以内に作成されたもの。なお、出身大学において、2019年度に定期健康診断を受診した者は、当該健康診断書(健康診断の結果を出身大学が証明したもの)提出により、本学所定の用紙による健康診断書の提出に代えることができます。</p>
入学検定料	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学検定料30,000円は必ず電信扱いで銀行振込し、振込依頼書、振込金領収書のそれぞれに取扱銀行収納印が押印されているのを確認してください。また、振込金領収書(大学送付用)を所定の用紙に添付して提出してください。</li> <li>入学検定料は、銀行振込以外は受け付けません。</li> <li>一旦振り込まれた入学検定料は返還しません。</li> </ul>
受験許可ならびに就学承諾証 ※未就業者は必要なし	<p>施設所属長より署名を受け、項目について記入をしてください。</p>
実務経験証明書 ※未就業者は必要なし	<p>看護学分野、助産学分野助産実践開発科学領域および理学療法学専攻に出願する者は、所属施設長による証明書を提出してください。</p> <p>勤務施設が1施設につき3年未満となる場合は、出願書類の請求時に必要枚数をご連絡ください。</p>

※個人情報の取り扱いについて

入学出願書類等で本学が知り得た個人に関する情報および入学試験結果等については秘密を厳守し、本学での入試関連業務、およびこれらに付随する事項の範囲内でのみ使用します。

## 11. 入学手続き

- (1) 合格者には、合格通知とともに入学手続きに必要な書類を送付します。  
(2) 入学手続きは、入学手続き期限内に手続きに必要な「学費等納付金」を銀行振込により納付するとともに、「入学手続き書類」を提出することによって完了します。

第一回募集 2019年10月10日(木)～10月17日(木)必着  
第二回募集 2020年 2月26日(水)～ 3月 4日(水)必着

## 12. 学費等納付金

区 分	1 年 次			2 年 次
	入学手続き金	後 期	合 計	
入 学 金	100,000円	—	100,000円	—
授 業 料	350,000円	350,000円	700,000円	700,000円
実験実習料 * 助産学分野助産師養成領域のみ	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
保 険 料	2,790円	—	2,790円	—
合 計	452,790円	350,000円	802,790円	700,000円
* 下段:助産学分野助産師養成領域	552,790円	450,000円	1,002,790円	900,000円

※本学卒業生は入学金が免除、授業料は半額となります。

※保健医療学部もしくは保健医療学研究科の実習生を受け入れている保健医療機関、または施設に勤務されている方は、入学金が半額免除となります。

※保険料は、学生教育研究災害傷害保険と学研災付帯賠償責任保険の掛金、修士課程2年分です。

※入学手続き時学費等の納付は、本学所定の入学手続き時学費等納付金振込用紙を使用し、すべて銀行振込によるものとし、本学窓口では取扱いません。

## 13. 入学辞退

入学手続き後、諸事情により入学を辞退する場合は、直ちに下記連絡先に申し出て、本学所定の「入学辞退願」を提出してください。

(連絡先)

保健医療学部事務室 〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501 TEL 027-352-1291

## 14. 学費等の返還

入学手続き完了者で2020年3月27日(金)17時までに入学辞退願を提出した場合には、入学金を除いた学費等を返還します。

\*「学費等納付金」のみ納付者の場合についても、入学意思があると判断しますので、入学手続きの完了・未完了に関わらず上記の手続きをしてください。

## 15. 学位記に付記される専攻分野の名称

高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科下記課程を修了した者は、下記の学位が授与されることとなります。その際、学位記に付記される専門分野の名称は、次のとおりです。

看護学専攻修士課程

看護学分野 「修士(看護学)」

助産学分野 「修士(助産学)」

理学療法学専攻修士課程

「修士(理学療法学)」

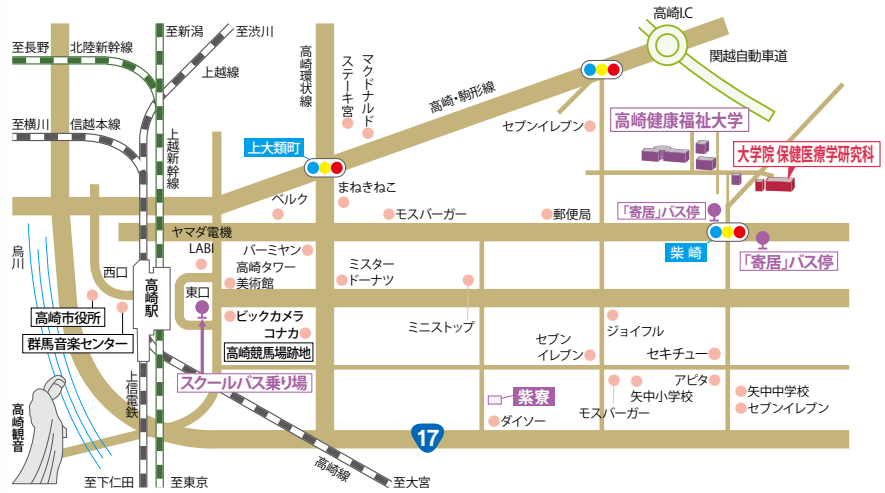
## 16. その他

出願書類の請求および出願について不明な点は、高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科事務室に照会してください。

高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科事務室  
〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501  
TEL 027-352-1291 FAX 027-352-1985  
E-mail info-hoikenkyu@takasaki-u.ac.jp

## ご案内図

### Map



### Access

#### ■交通アクセス

高崎駅から大学まではバスで20分。

高崎駅東口・紫寮・大学を循環する専用バスも利用可能です。

- JR高崎駅東口から、スクールバスを通学時に運行。
- JR高崎駅東口から、市内循環バス「ぐるりん」が定期的に運行されています。
- JR高崎駅西口から、群馬中央バス

「伊勢崎行き」で約20分(「寄居」バス停下車・徒歩5分)です。

※バスの時刻はホームページをご確認ください。

#### ■高崎健康福祉大学 大学院

- 保健医療学研究科
- 健康福祉学研究科
- 薬学研究科

## 高崎健康福祉大学 大学院

保健医療学研究科事務室

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501

TEL 027-352-1291 FAX 027-352-1985

Email: info-hoikenkyu@takasaki-u.ac.jp